

マルメ大学での1週間の学びは大変有意義で素晴らしいものでした。

現在、日本の歯科界ではどこでも予防を謳っています。では実際のところ歯を失わないための予防とは、どうしたら良いのでしょうか。毎日、歯を磨きフッ素を塗って歯科医院に定期的に通っている事が予防なのでしょうか。その疑問を解決したく今回マルメ大学の研修に参加いたしました。

スウェーデンの予防システムとは、個々の患者のリスク評価を徹底的に行い患者に合わせた予防プログラムをたて、必要最小限の治療を行い定期的なメンテナンスに至るというものでした。また、治療費は日本では患者教育のための説明は保険で算定できませんが、スウェーデンでは適用となります。スウェーデンがいかに患者教育に重きをおいているかがわかりました。

現在日本ではカリエスになったら早めに治療、早期発見、早期治療がまだまだ主流になっていますが、スウェーデンではカリエスを発見してもリスク評価から治療の介入時期を判断し経過をみていきます。すべてが患者の利益を考えられ実践されています。

日本の歯科保険制度は赤字ですが、このようなスウェーデンシステムを採用することによって日本の財政も変わってくるのでは、そして日本の歯の喪失率も変化するだろうと実感いたしました。

この1週間、学生以来経験していなかった早朝から集合して学食を食ベ夕方まで講義を受ける、100人という大人数で予防と言う同じ目標に向かって勉強している、と言う事に感激もいたしました。

最後に、このような研修を企画して下さった熊谷先生、Ericson先生、マルメ大学スタッフ、通訳の方、オーラルケアの方に感謝致します。是非、この経験を臨床にいかしていきたいと思えます。

